

公表

## 事業所における自己評価結果

| 事業所名                             |   | 公表日 2026年1月23日 |               |     |   |   |  |
|----------------------------------|---|----------------|---------------|-----|---|---|--|
| 事業所名                             |   | 公表日 2026年1月23日 |               |     |   |   |  |
|                                  | チェック項目  | はい             | どちらとも<br>いえない | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点   |  |
| 環境・<br>体制<br>整備                  | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。  | 5              | 1             |     | 利用者の状況に合わせて、マット上またはベット、マットレスで適切に過ごせるよう配慮している。また、他害の可能性がある利用者に対しては、必要な距離が保てる様に個別のマットを利用する事もある。 | 施設内の開いているスペースを有効に使うことで、様々な活動を行うことができています。                                 |  |
|                                  | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。  | 4              | 2             |     |   | 適切にスタッフは配置しているが、スタッフのお休みなどで、現場が大変になることがある。                                |  |
|                                  | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。   | 6              |               |     |   |   |  |
|                                  | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。   | 6              |               |     | 現在、レイアウト変更で部屋を大きく利用することができている。  |   |  |
|                                  | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。  | 6              |               |     |   |   |  |
| 業務<br>改善                         | 6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。  | 3              | 3             |     | ミーティングに参加できないスタッフについては、紙面でのやりとりでカバーするようにしている。   | 目標設定は出来ており、活動時間帯は目標を紙面提示しているが、スタッフがその目標に対して意識的に支援している印象が薄いと感じる事もある。       |  |
|                                  | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 5              | 1             |     |   |   |  |
|                                  | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 6              |               |     |   |   |  |
|                                  | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。  |                | 4             | 2   | 数年前に実施済み  | 再度第三者評価の受審を検討しているが、費用が高いため、武蔵村山市の助成を活用したいが、放課後デイへの助成が現在ない。                |  |
|                                  | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 6              |               |     |   |   |  |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>案 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 6              |               |     |   |   |  |
|                                  | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 5              | 1             |     |   |   |  |
|                                  | 13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 5              | 1             |     |   |   |  |
|                                  | 14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 5              | 1             |     | 支援カードを活用し、情報は共有しているが、支援内容への意識付けを高める必要がある。   | 集団支援はされているが、個別支援が薄いと思う。支援前に送迎や体調面、持ち物の確認はするが、個別支援内容に関する具体的な打ち合わせは少ない様に思う。 |  |
|                                  | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 3              | 2             | 1   | フォーマルなアセスメントシート、日々の行動についての聞き取り、観察をもとにしたアセスメントを実施している。今後も、スタッフへの周知を図っていく。                      | アセスメントシートの存在がわからない。   |  |
|                                  | 16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6              |               |     |   |   |  |
|                                  | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 5              | 1             |     |   |   |  |
|                                  | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 4              | 2             |     | 年間の計画を立て、新しい企画を取り入れている。   |   |  |

|   |              |  |  |   |   |  |   |   |                  |
|---|--------------|--|--|---|---|--|---|---|------------------|
| 供 | 19           | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                     | 3  | 3 |   | 医療的ケアが必要な利用者の場合、集団活動への参加が難しくなることがある。今後も、長期休みの時期を活用し、すべての方へ個別・集団活動を提供できるよう工夫していく。 |   |   |                  |
|   | 20           | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。              | 5  | 1 |   |  | 申し送りノートの活用で、スタッフ間で情報共有する事は出来ていると思う。                                   |   |                  |
|   | 21           | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                       | 2  | 4 |   |  | 送迎に出るスタッフもあり、終了後の振り返りが難しい日も多いが、申し送りノートを活用して気づきの共有を図っている。              |   |                  |
|   | 22           | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                       | 6  |   |   |  |   |   |                  |
|   | 23           | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                        | 6  |   |   |  |   |   |                  |
|   | 24           | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。                             | 5  | 1 |   |  |   |   |                  |
|   | 25           | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                         | 5  | 1 |   |  |   |   |                  |
|   | 関係機関や保護者との連携 | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 4 | 2 |  | 現場のスタッフが直接関係機関と連絡調整する事はないが、児発管が相談支援員と連絡し調整している。                       |   |                  |
|   |              | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 5 | 1 |  |   | ICTの活用で関係機関との情報共有に参加する様になった事は評価して良いと思う。今後も積極的に関係機関情報共有を行う必要がある。情報共有した際には、その結果を残す事で、児発管の役割も明確になると思う。 |                  |
|   |              | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 6 |   |  |   |   |                  |
|   |              | 29   | 医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか   | 5 | 1 |  |   |   |                  |
|   |              | 30   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 3 | 2 | 1  |   | 今後も連携に努める。  |                  |
|   |              | 31   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 6 |   |  |   |   |                  |
|   |              | 32   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            |   | 3 | 3  |   | 連携の図り方を模索中  |                  |
|   |              | 33   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   |   | 2 | 4  |   | 武蔵村山高校、農芸高校へ問い合わせを行い、交流ができないか検討した実績はある。生徒の送迎の面、ボランティア部の活動実績がない、などで難しいよう。                            | 地域交流を行っていけるよう計画。 |
|   |              | 34   | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 5 | 1 |  |   | 今年度より、放課後デイサービス連絡会へ参加を開始した。放デイ説明会を開催・出席することができ、有意義なひと時となっている。                                       |                  |
|   |              | 35   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 6 |   |  |   |   |                  |
|   | 36           | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 2  | 3 | 1 |  | 年に数回、家族も参加できるリハビリやおむつ研修などを企画している。保護者の皆様のお役に立てる研修をお聞きし、反映できるようにしていきたい。 |   |                  |
|   |              | 37   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 4 | 2 |  |   |   |                  |
|   |              | 38   | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 |   |  |   |   |                  |
|   |              | 39   | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | 6 |   |  |   |   |                  |
|   |              | 40   | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                      | 5 | 1 |  |   |   |                  |

|          |    |  |   |   |  |   |  |
|----------|----|--|---|---|--|---|--|
| 保護者への説明等 | 41 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 2 |  | 現在、父母の会の設立準備を進めている。毎年1回の保護者会では、保護者どうしの交流ができるよう、昼食会などを設けている。 |  |
|          | 42 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 5 | 1 |  |   |  |
|          | 43 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                   | 6 |   |  |   | 保護者と話す時間が送迎が多いが時間が限られていたり、別部署のスタッフが送迎を担当する為、保護者も相談し難いのではと感じる事もある。もう少し現場のスタッフと保護者がコミュニケーションを取れる機会があると良いと思う。 |
|          | 44 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 6 |   |  |   |  |
|          | 45 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 5 | 1 |  |   |  |
|          | 46 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 5 | 1 |  |   |  |
| 非常時等の対応  | 47 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 5 | 1 |  |   | マニュアルはあるが、見直し、読み合わせを定期的に行う事でスタッフに周知できると思う。   |
|          | 48 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 6 |   |  |   |  |
|          | 49 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 6 |   |  |   |  |
|          | 50 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 6 |   |  |   |  |
|          | 51 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 5 | 1 |  |   |  |
|          | 52 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 5 | 1 |  | 安全計画を策定しているが、ご家族への周知は不足しているかもしれない。                          | 保護者会などで、周知を図る  |
|          | 53 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 6 |   |  |   |  |
|          | 54 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 5 | 1 |  |   |  |
|          | 55 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | 6 |   |  |   |  |